

## 平成30年度 神奈川県立上矢部高等学校 不祥事ゼロプログラム

	取り組み課題	目標	達成のための行動計画	強化月間	取組みの内容
1	個人情報管理・情報セキュリティ	個人情報を適正に管理し、保護に努める。	個人情報の取り扱いに関するマニュアルに基づき、個人情報を扱うルール・意識の再徹底を図る。 文書の保管期間を明確にし、保管期間が終了した文書の廃棄を徹底する。	10月 2月	生活支援グループからの呼びかけ 不祥事防止職員啓発点検資料活用
2	セクハラ・わいせつ行為	人権に配慮した行動の徹底に努める。	セクハラ・わいせつ行為の事例資料を配付し、不祥事防止の啓発に努める。 スクールセクハラに対する研修会を実施する。 生徒の連絡先の適正な取得・管理方法の徹底を図る。	6月	生徒活動グループからの呼びかけ 不祥事防止職員啓発点検資料活用
3	体罰・不適切指導	体罰・不適切指導の発生を未然に防止する。	体罰防止・不適切指導に向けた啓発資料を配付し、研修会を実施する。 生徒指導に関する事例を共有し、全職員の理解を深める。	9月	生活支援グループからの呼びかけ 不祥事防止職員啓発点検資料活用 「体罰防止ガイドライン」の活用
4	経理処理（公費、私費、現金管理） 【最重点項目】	学校徴収金・団体徴収金・部費等の事故を未然に防止する。	私費会計の事故防止資料を配付し、事故防止会議（全体会）で全職員の理解を図る。 私費及び部費の会計担当者を対象として、会計事故防止研修会を実施する。	8月	総務運営グループ 不祥事防止職員啓発点検資料活用 「私費会計ハンドブック」の確認
5	業務執行体制	業務執行を適正に行い、事故防止に向けた適切な業務執行体制を構築する。	法令の諸規定に基づき、日常の点検を行って、適切な業務を遂行する。 日常的な報告・連絡・相談体制により情報を共有し、協力して業務を行う。 AED使用法講習会を実施する。	1月	管理職からの注意喚起 不祥事防止職員啓発点検資料活用 AEDについては別に日程を検討
6	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止	酒酔い・酒気帯び運転を防止し、交通事故を未然に防ぐ。	交通事故のチェックリストを作成し、事故防止会議を通じて交通ルールの遵守と交通安全について確認する。 飲酒の身体に及ぼす影響を確認し、自制と注意を喚起する。	11月	管理職からの注意喚起 不祥事防止職員啓発点検資料活用 AEDについては別に日程を検討
7	成績処理及び進路関係書類の作成 【最重点項目】	成績処理・調査書等に関する事故を未然に防止する。	定期試験などの作問・採点・成績処理において、複数チェック体制で点検を実施する。 調査書・進路関係書類の作成・点検において、適切な業務を行う。	7月	学習支援グループ及びキャリア教育グループからの呼びかけ 不祥事防止職員啓発点検資料の活用
8	入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜に係る事故を未然に防止する。	入学者選抜業務について適切なマニュアルを作成し、チェックリストに基づいた点検を行う。 選考基準及び選考方法について研修会を実施し、事故防止に向けて職員間の共通理解を図る。	12月	入選委員会からの呼びかけ、不祥事防止研修の実施 不祥事防止職員啓発点検資料活用
9	公務外非行の防止	公務員としての自覚を持ち、政治的中立を厳守し、法令遵守の行動をとる。	公務外非行の具体的な事例を教材として、研修を実施する。 公務員としての自覚を高めるよう様々な機会を捉え注意を喚起する。 電話や来客の対応など県民への基本的な対応を確認する。	5月 3月	管理職からの注意喚起 不祥事防止職員啓発点検資料活用 「服務に関するハンドブック」の活用
10	管理職による個別面談	教職員の事故防止に対する意識を高めるとともに、日常業務の再点検を行う。	チェックリストの記入と事故防止への提案聴取。 校長、副校長による個別面談。 20代、50代を対象とした啓発の取り組み	随時	管理職からの注意喚起 不祥事防止啓発資料の活用

日常の呼びかけをするほか、職員会議の前か後「事故防止研修」として設定します。  
中間検証を11月に行い11月以前に行ったものについて分析し、不十分な項目については再度取り組みます。

【最重点項目】 本校として特に重きを置いて取り組む項目  
太字 県として重点的に取り組む項目